

※自筆による作成、あるいはパソコン等による作成のいずれによる方法でもさしつかえありません。

申立人用

## 陳述書

陳述書の提出日を記入してください。

平成\*\*年\*\*月\*\*日

一般社団法人 日本共済協会 審査委員会

29-99号案件審議会 御中

案件番号を記入してください。

住所、氏名の記入および押印をしてください。

申立人

住所 ○○県○○市○○町 2-1-2

氏名 共済太郎 印 共済

代理人による申立の場合には、  
申立人代理人の住所・氏名を記入し、押印してください。

※代理人を立てない場合は記載不要

申立人代理人

住所 ○○県○○市○○町 2-1-2

氏名 共済花子 印 共済

申立人は、被申立人提出の平成○○年○○月○○日付「答弁書」について、下記のとおり陳述する。

### 記

#### 1. 事故発生状況について

自宅玄関先での転倒の状況については、\_\_\_\_\_であり、入院治療が必要な外傷の存在は明らかではないとする被申立人の主張は事実と反する。

#### 2. 入院治療の必要性について

本件は担当医の指示により入院したものであり、入院中は\_\_\_\_\_といった治療を実施しており、自宅からの通院による治療は困難であった。

#### 3. 外出、外泊の状況について

入院期間中の外出、外泊は\_\_\_\_\_といったやむを得ない事情により担当医の許可をもらって実施したものであり、約款・事業規約に定める「\_\_\_\_\_」該当しないとの被申立人主張には納得がいかない。

被申立人答弁書または陳述書の主張内容に対する反論を簡潔に記述します。

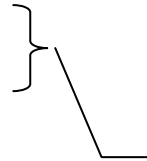
被申立人は「\_\_\_\_\_」と主張するが、

申立人としては、\_\_\_\_\_の理由により、\_\_\_\_\_と主張する。

と論点が明確となるように記述してください。

< 証拠書類 >

- 甲第 6 号証 . . . 事故状況報告書 (写)
- 甲第 7 号証 . . . 外出証明願 (写)



陳述書の提出に際し、主張を裏付ける根拠資料を追加する場合には、すでに提出済の証拠書類からの連番で「甲第〇号証」と資料に付番して提出してください。

以 上